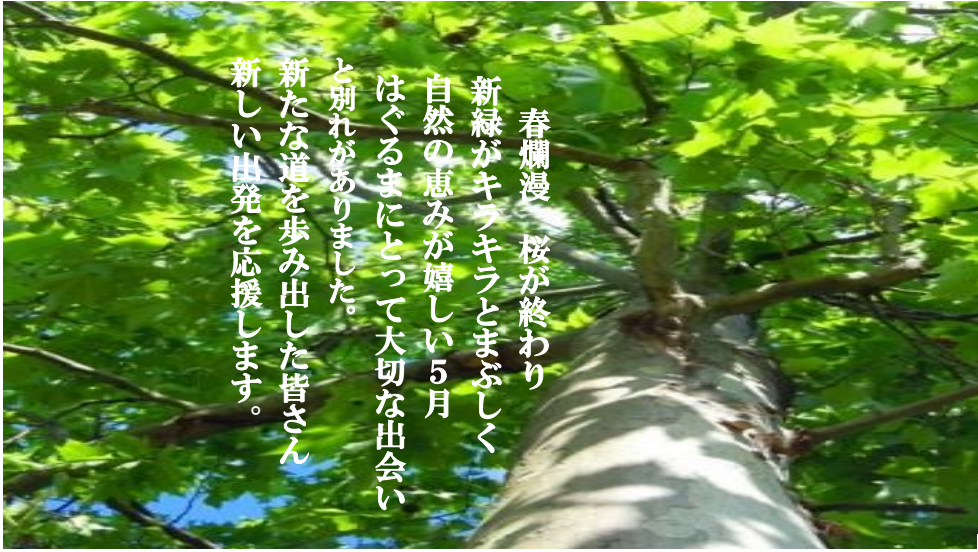


風薫る



春爛漫、桜が終わり
新緑がキラキラとまぶしく
自然の恵みが嬉しい5月
はぐるまにとって大切な出会い
と別れがありました。
新たな道を歩み出した皆さん
新しい出発を応援します。

はぐるま



ごあいさつ
はぐるまの会理事長

べにや たくお
紅谷 卓男

はじめまして
澤理事長のあとを
引き継ぎました紅谷
でございます。
3年前に理事を
拝命し、まさかの
理事長就任に少々

戸惑っております。創立以来33年を経てはぐるまの会は、事業規模が5億円、利用者は作業所47名、ホーム40名となりました。高木計、岩田洋子両創始者、澤理事長をはじめ仲間やご家族の皆様のご努力の賜物と考えております。私は、民間企業で経営企画やマーケティングを担当して、経営の末席を経験してきました。最後のお勤めで4年間、医療法人社会福祉法人の総合グループで本部理事を務めました。この2年は、市民後見ひろば（東京大学市民後見

No.92

201年5月6日

社会福祉法人
はぐるまの会

広報委員会

川崎市多摩区

菅馬場1-18-17

TEL 044-946-1308

養成講座修了生の会」の代表でしたが、社会福祉の分野は素人同然です。皆様のご協力とお導き、アドバイスが必要です。

後見の理念は、国際障害者年の国連決議

① 自己決定権の尊重 ② 残存能力の尊重

③ ノーマライゼーション（平等に生活する社会）で、私たちが共有出来る理念だと思えます。

知的障がい者は、人口1000人当たり6人法定雇用率は2%に引き上げられました。この4月からは「障害者差別解消法」が施行され私も勉強のためにこの法案を作成した、厚労省の障がいを持つ方の説明会に参加してきました。日本の事情は、欧州に20年近く遅れていると実感しました。

はぐるまの会の「行動目標」を念頭に、4つの幸せ「人に愛されること・人に褒められること・人の役に立つこと・人に必要とされること」を忘れることなく、皆さんと一緒に努力して参りたいと思います。高齢化の次の日本社会は、人口が現在の2/3になると推計されています。やさしく、しなやかに、強い社会福祉法人になることが求められています。皆さん、よろしくお願い申し上げます。

さくら散る！！お別れの言葉に涙があふれます



橘浩美さんへ 飯嶋梨沙より

わたしは、第1作業所でいっしょでした。わかめはんぱいに行ったり青山さん（南三陸）の所まで旅行に行ったりしました。マラソンのときはいっしょのグループで練習をしました。わたしは橘さんをめざしてがんばりました、橘さんは走っているときも、仲間に声かけしていました。すごいなと思いました。これからもずっと仲間だと思ったら、あしたからいなくなると思うと、さびしいです。新しい作業所でもきっとがんばってやれると思います。元気でね

暖かな公園の空の下、満開の桜も、新たな出発に花を添え

橘浩美さんのお別れ会

元氣印の橘さんが去り、元氣はつらつの中田真優さん入所

ようこそ新しい仲間

新しい環境に興味津々の中田さん。仕事を覚えるのは早いので、すぐに上達すると思います。仲間と一緒に頑張りましょう。



中田真優さん
山田 俊輔(描)

はぐるままで
ふきんの糸きり
マラソンを
がんばります。

新しい暮らしが始まりました

「はぐるま共働学習ホーム」2Fと

「いずみホーム」1Fが、引越しをし、新生活が始まっています。引越し先は、はぐるま発祥の地「中野島」

三十三年前に、ホーム・作業所ともこの地から出発をしました。

仲間たちにとっては、多摩川にマラソンに行く通り道でもあり、日頃から馴染んでいる地域です、近隣の方たちも良く知っていただいていますので、安心してくらしています。



ホームの生活いろいろ——広くてゆったり生活

思いがけない出会い



毎年恒例のはぐるまマラソン大会、今年度のマラソンのテーマは

「**見せるぞ!! はぐるま魂**」

★元氣に行事をやりきろう★

昨年のマイコプラズマ感染症では、半分近くの仲間が感染し、登山や運動を制限しなければならず、仲間にとって悔しい経験となりました。その思いがいつばい詰まったこのテーマ通り「力一杯」の走りが見られました。全ての仲間が完走（10キロ・5キロ・3キロ）できました。

ゴールした仲間に一言インタビュー

- ★ 何で走るの? ★
- トン汁が待っているから
- みんなが見ているから
- △ いちご大福食べたい【今年はどうら焼き】
- ☆ ゴールが楽しい

仲間たちを土手で見守っている熱い視線、多摩川沿いにある、学校のグラウンド・クラブハウスの管理のお仕事をされている男性に声を掛けられました。

【上記写真中央】

15年位前から走る仲間を見ていてくださっているとの事、仲間の頑張っている姿を見るのが好きだそうで、古くからの仲間（佐藤さん・長原さん他数名）の顔は知っていました。「年をとったね」と一言。そうですね、15年前の仲間は、若かったですよ。

こんな話ができる方がこんなに近くで見守って下さる事に感謝いたします。

永遠のお別れ

落合裕美さんの

母からの手紙



4月27日無事葬儀をすませる事ができました。はぐるまを退所して、療養生活に入り2年8カ月の日を過ごすことができました。仲間の皆様、職員の方々からの励ましの言葉、そしてはぐるまの様子をいつも聞かせてもらう事ができたので、裕美も頑張ることができたのだと思います。

また、多くの皆様にお別れに来ていただきました。はぐるまの思い出を一杯つめて笑顔で旅立つことができたのは、本当に幸せだと思います。

これからのはぐるまの事は忘れる事はしないでしよう。ありがとうございます。皆様の健康とはぐるまの発展を心から願っています。

はぐるまの会の皆様

ありがとうございます。

4月28日 落合 由貴

はぐるま工房より

はぐるまロールプロジェクト！

先日のホリデー活動（休日余暇活動）でも、はぐるま工房の農園の野菜を使ったコース料理をご馳走になった登戸のビストロ・カプリシユの菊池シェフからのご提案により、はぐるま工房産の野菜やハーブを使用した商品開発に着手しました。

今回のプロジェクトは、カプリシユの菊池シェフの監修のもと、田園調布学園大学のクッキングサークルメンバーとはぐるま工房の仲間たちによる「(仮) はぐるまロール」づくりに取り組んでいます。

しばらくの間は、試行錯誤と小さな混乱が続くことと思いますが、自分たちのつくった野菜やハーブが商品になる喜びを味わってもらえる商品になると良いですね！



はぐるまロール 試作中！！



新任です！！

きくち まさみ
菊地 雅巳

所属 はずみホーム

(はぐるま共同作業所日中勤務)



この度4月に入職させて頂きました菊地雅巳と申します。

前職は通信系の仕事に従事し未経験でこの業界に入りました。入職してまだ一カ月ですが、非常に有意義である仕事の反面、毎日が面食らいながらも諸先輩の仕事の仕方をみて、少しづつ貢献できればと思います。これからよろしくお願い致します。

ホーム勤務です

うみの みつお
海野 光雄

あぐりホーム所属

水曜日・金曜日の夜勤です

連絡版

後援会便りが発行できませんでした。申し訳ありません。5月12日に役員会がありますので、次号でお伝えいたします。

いそ ちよこ
磯 千代子

第4ホーム所属

水・木・金曜日の 調理を担当

ういけい
鵜池 かり

第4ホーム所属

月・火曜日の調理を担当

いしかわ さちこ
石川 幸子

第2ホーム所属

土・日曜日 夜勤です

※ホームで仲間の生活を支えて頂く、貴重な人材です。今後ともよろしくお願い致します。

編集後記

四文字熟語の本を熱心に読んでいる仲間がいます、覗き込んだ先に
行雲流水・行く雲、流れる水は絶えず移り変わり一瞬もとどまらない。
人生も行く雲や流れる水のように刻々と変化してやまない。出会いと別れも人の数だけ様々で、時の流れの中で繰り返し返される。今を象徴するようです。